



<https://www.tutitokaze.com/>

<https://www.instagram.com/koedofarm/>

2022.9.25号



親子で畑で遊ぼう！2022

第6回 9/10

「暑さ寒さも彼岸まで」と申しますが、きびしい残暑や寒さも彼岸の頃には和らいで過ごしやすくなるという、日本人の季節に対する感覚を表現している慣用句です。今年はこの言葉通りとはいかず、雨が続き肌寒いお彼岸になってしまいました。秋の彼岸に合わせたかのように咲く花が彼岸花こと曼珠沙華です。彼岸花はくっきりと鮮やかな赤色の花が特徴ですが、白や黄色、近頃はオレンジやピンク、紫色の花まであるそうです。おどろおどろしい別名や迷信も数多くあり、かつては忌み嫌われた花ですが、今は昔、日高の巾着田には毎年多くの観光客が彼岸花を見ようと押し寄せてくるようになりました。今年もお中日に合わせたかのように満開となったらしく、多くの人を楽しませてくれたことでしょう。

さて、親子で畑で遊ぼう第6回は想定外は起こらず、久しぶりに楽しく半日を過ごしました。この日の作業はミニトマトの片づけ、ナスの剪定、米ぬか散布です。今年は猛暑が早くから続いたところに何度も大雨に見舞われ、花は落ちるは実は割れるは…、アンデス原産で冷涼と乾燥を好むトマトにとっては散々な夏になってしまい、本当に残念でした。ほとんど口にするのが出来なかったミニトマトですがこの日でお別れです。枝を切り、根を抜き、紐を外し、支柱を片づけました。



一方、雨に強く暑さを好むインド原産のナスは、ぐんぐん成長して、たくさんの実をつけました。いつもならミニトマトと一緒に片づけてしまうのですが、このまま育ててみることにしました。とは言え、暑い夏を乗り越えたくさん実を付け疲れ切っているの、元気を取り戻させるために剪定（切り戻し）をしました。伸びている枝を1/2~1/3の長さを目安に切り落とします。虫くいや

黄色くなった葉も切り落とします。剪定が終わったら米ぬかを通路や葉に撒きました。米ぬかは病気や害虫を防ぐなどの効果のほか、肥料にもなり米ぬかを撒いて育った野菜は甘く美味しくなると言われています。しっかり撒けたので、冬までもう一度美味しいナスが食べられるといいですね。



ミニトマトの後には、ダイコンを育てます。美味しくなるように、たっぷり米ぬかをまきました。



この日の作業はこれで終了。朝収穫しておいたゴーヤとオクラを山分けして、ニラを収穫してこの日はお開きとなりました。



10月はダイコンの種まきです。お楽しみに。

親子で畑で遊ぼう！2022 第7回

10月1日（土）10:00~14:00

ダイコンの種まきほか

持ち物：帽子、手袋、長靴、タオル、飲み物、昼食
ハサミ、Myバック

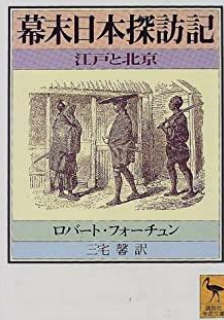
畑をみんなで楽しもう！

「江戸と北京」イギリスの園芸学者として有名で今で言うプラントハンターのロバート・フォーチュンが1860年から一年余り、江戸と北京を中心に植物採集をした時の、実に示唆に富んだ見聞記である。三代将軍、家康・秀忠・家光が花癖将軍とも呼ばれたように無類の花好きだったこともあり、日本の園芸文化は江戸で花開いたと言える。この本には花好きの市民の様子がいくつも描かれている。

『住民のはっきりした特徴は身分の高下を問わず花好きなことであった。どの家も裏庭に花壇を作って小規模だが清楚に整っていた。どこの家でも丁寧に歓迎してくれたので私は彼らが大切にしていた花や盆栽を勝手に見て回った』

今でいうオープンガーデンである。『日本人の国民性の著しい特色は、庶民でも生来の花好きであることだ。もしも花を愛する国民性が人間の文化生活の高さを証明するものとすれば、日本の庶民はイギリスの庶民と比べると、ずっと優ってみえる。』日本は西欧より100年も早く庶民に園芸文化が根付いていたのである。

この本には当時の農業についても書かれているので、機会があれば紹介してみたい。



畑でハーブを育てよう！

第5回は感染症対策のため、燻製作業はスタッフで行い、持ち帰って試食をすることにしました。癒しの一服ハーブティーもお土産にします。燻製器に燻製チップとドライハーブを加え火に掛けると、数分でハーブがほんのり香る煙が立ち上ります。今回はタイム、ローズマリー、オレガノ、バジルでカシューナッツ、チーズ、レーズンを燻製します。煙の香りを確認してから後はスタッフに任せて畑へ移動。雨上がりの強い日差しの下、秋へ向けての畑仕事は山盛りです。まず赤紫蘇などを抜き草取り、肥料を入れて耕し、タラゴン、マートル、エキナセア、セージを植え付けました。目新しいハーブに期待が高まります。収穫したバタフライピーやレモンバーベナは家でお茶に。久しぶりの畑作業が楽しく暑さも吹き飛ばす勢いで片付けていきます。参加者の方からは、燻製は敷居が高いと思っていたが気軽に出来そう、お土産をいただいて家でもハーブを楽しめるので今日も楽しみ、など嬉しい言葉が。制限の中でしたが、自然の恵みから元気をいただきました。(新居)






畑でハーブを育てよう！

10月1日(土) 10:00~13:00

スワッグづくりほか

持ち物：帽子、手袋、長靴、飲み物、マイカップ

10月のこえどファーム

日	月	火	水	木	金	土
						1 親子で畑で遊ぼう 畑のハーブを育てよう
2	3	4 畑をみんなで楽しもう	5	6 	7 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	8 順延日
9	10 	11 畑をみんなで楽しもう	12	13	14 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	15
16	17	18 畑をみんなで楽しもう	19	20	21 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	22
23/30	24/31	25 畑をみんなで楽しもう	26	27	28 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	29 

◆編集なんてしてないけど編集後記◆

「認知症になっても暮らしやすいまちを！」
9月の世界アルツハイマー月間にオレンジ色の花を咲かせる「オレンジガーデニングプロジェクト」来年は取り組んでみたい！（ま）

発行 特定非営利活動法人 土と風の舎

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 6-14-10

TEL.049-248-9485 FAX.049-248-9486

E-mail.tutitokaze@arion.ocn.ne.jp